

技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
2501	次世代技能者の技能レベル向上のための指導法 (手仕上げの基本と機械組立て編)	令和5年 2月 2日(木)～ 2月 3日(金)	6	2
開催会場	職業能力開発総合大学校 (東京都小平市)	技能・技術分野	機械設計・加工	
		技能・技術レベル	L2	
		技能・技術要素	機械組立て 仕上げ	
研修のねらい 及び 到達目標	技能五輪上位入賞者による手仕上げ作業の基本とその指導ノウハウについて学び、今後の職業能力開発施設における効果的な技能・技術の指導法に役立てることを目指します。また、技能五輪全国大会「機械組立て職種」で行われている競技内容について紹介し、より高いレベルの手仕上げ作業を理解することで、次世代の技能者育成に役立つノウハウを吸収できます。 (到達目標) ・機械組立ての指導ができる			
最低限 必要な知識	機械組立てに関する基本的な知識を有していること。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)		講義	実技・演習
	1 技能競技会「機械組立て」職種の概要 (1) 競技大会の変遷と動向 (2) 競技課題と実施要領 (3) 使用機材と持参工具 (4) 採点基準と競技規則		1 H	
	2 技能五輪上位入賞者の実演から学ぶ機械組立てのノウハウ (1) 作業環境の準備と各種工具の配置 (2) やすり作業の正しいフォームと作業時間短縮の工夫 (3) やすりおよび工作物の持ち方 (4) やすりによる基準出し作業と指導上のポイント (5) 摺合せによる平面出しと寸法確認 (6) 各種形状の仕上げ作業 (7) きさげ工具ときさげ作業のポイント (8) 砥石がけ作業 (9) やすりの選定とやすり面の修正 (10) 質疑応答		1 H	9 H
	3 質疑応答、習得度確認 (1) 訓練成果のまとめと展開方法のディスカッション		1 H	
			3 H	9 H
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	機械組立て職種の中でポイントになる手仕上げ作業について理解を深め、ノウハウを習得できます。普通課程及び専門課程などにおいて、技能競技大会課題を活用し、若年者の技能レベルの向上を図ろうとしている指導員に最適の研修コースとなっています。			
研修成果が 活用できる 職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
	機械組立	組立	機械組立	
担当教員 (ユニット)	太田 和良、中村 恭平、外部講師 (NC・CAMユニット)			
使用する機器 等	作業バイス、各種やすり、きさげ、けがき用具、各種測定具、各種定盤、作業台、 その他の手仕上げ用器工具			
受講者が用意 するテキスト (予定)	「ザ・手仕上げ作業」(日刊工業新聞社) ISBN 978-4-526-07500-1			

実
践
・
研
修
術